取組名称	**汚れた「水の都・三島」の水辺自然環境を地域協働で再生 ―「水と緑の環境保全活用ネットワーク」を構築―**			団体設立後の経過年数	34年目
応募取組主体名称	特定非営利活動法人　グラウンドワーク三島	活動地域	静岡県三島市、沼津市、清水町等	応募取組の活動年数	34年目
取組主体の種別	企業　／　学校　／　(NPO・任意団体)　／　自治体　／　地域コミュニティ　／　個人　／ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください）／その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 ／ 子どもエンパワーメント賞 ／ 環境と福祉賞 ／ (環境地域ブランディング賞) ／ (環境ひとづくり賞) ／ (環境社会イノベーション賞) ／ (地球と人への想いやり賞) ／ SDGsビジネス賞				



取組の要旨

静岡県三島市は、富士山からの湧水が街中を網の目のように流れる「水の都」でしたが、1960年代以降、湧水が減少し、川にゴミが捨てられ、ドブ川になりました。そこで、1992年「グラウンドワーク三島」を設立して、市民・NPO・行政・企業が連携する「地域協働」の仕組みを創り上げ、傷付き未利用の環境資源を市民力・地域力で地域資源に再生する「水と緑の環境保全活用ネットワーク」を構築し、人と自然が共生できる賑わいを復活しました。

実績の要旨（200字程度）

汚れた源兵衛川をホタルが乱舞して川遊びに興じる子どもの歓声が響く清流に再生。水中花・三島梅花藻の復活、絶滅危惧種ホトケドジョウやホタルの生息環境の拡大、松毛川千年の森づくり、富士山からの湧水池と谷地田を保全した境川・清住緑地大湧水公園の整備等、市内75箇所に実践地を造成。環境出前講座の開校や環境インストラクターの育成、英国・台湾・韓国・ネパールとの交流、災害支援等、多様な環境改善再生活動に取り組んできました。

取組評価の要旨		
	環境への貢献	汚れていた源兵衛川を清流に復元、ミシマバイカモやホタルを復活、荒れ果てた河畔林の再生、湧水池や井戸・水神さんの保全
	社会・経済への貢献	街中の賑わい拡大(年間来訪者780万人)、空き店舗ほぼゼロ化に貢献、夏場1日1,000以上の子どもが無料で川遊びできる水辺空間を提供
	地域資源の活用	源兵衛川の暗渠化事業を阻止して原風景・原自然の水辺環境に再生、川の中を歩ける水の散歩道を造り回遊路で活用、水辺に飲食店を誘致
	普及・汎用性	「環境インストラクター養成講座」で次世代の「環境の防人」を育成、首都圏対象のゴミ拾いツアーの企画、水の勉強会・ホタルの楽校の開校
	革新・ユニーク性	「議論よりアクション」が信条、課題を抱えた現場に出かけ実践活動を通して小さな成果・実績を残す「足算と汗の力」を実証
	継続性	安定的な資金確保でNPOビジネス・街中カフェ3店の経営(農業・空き店舗活用・シニア雇用)、サポーター200人以上育成、企業200社と連携

展望の要旨	
	「水都・三島街中改造計画」の実現「水と緑の環境保全再生ネットワーク」の構築「国際環境再生実践アカデミー」の開校「グラウンドワーク台湾」の設立